



帰る途中にて

「移住定住したら、どんな生活が待っているか？」

みなさん、こんにちは。毎日、忙しく生活してます。12月半ばなのに、まだ雪が積もりません。この5年間では初じゃないでしょうか？地元の人に聞いたら、たまーに雪が降らない年もあるそうで、12月もまったく降らない年もあったとか…。降らないほうがいいですね、運転しやすいし。

さて、NHKで移住定住の番組が放送されていました。出演している教授も協力隊の時に研修所にいたなーという知ってる人だったり、世間は狭いものです。

その内容ですが「1%の移住定住の成功例を作る」というものでした。詳しくは忘れましたが(笑)はりきりすぎずに、確実に定住者を増やそうということらしいです。

移住した若い夫婦は「都会にいた時よりも暮らしが豊かになった」と言っていました。おーいいじゃないかーと僕は素直に思いました。というのも、自分の人生において暮らしを見つめ直す時間は、そんなにあるもんじゃないと思うからです。

例えば、400年続くお寺に生まれた跡継ぎが、「父さん、俺、シアトルに寺ごと移住したいんだ」と言っても叶わぬ夢だし、「お父様、夢のある暮らしがしたいから、ディズニーランドに住みたいわ!」と言っても不法侵入罪でダメなのです。自分の暮らしを追い求められる人は、そういう環境にある人に限ります。

で、いざ自由の身。豊かな生活を求めて移住するぞ!と言っても、知らないところへ行かないとならんわけですから、移住してよかったかどうかの以前に、何でその場所なのか？なんて理由がありません。「あれがあって、これがあって、これが出来そうだから、自分にピッタリだ!」とわかっていたら、移住しなくとも知りすぎてます。ということは、その場所に何があるからという目的ではなく、その場所に行ったら、何となく豊かな暮らしが出来そうだと、思えることが大切だと思います。

TVに出演していた若い夫婦も、最初はスーパーで買い物して、地元の特産品を珍しがっていましたが、5年もすれば、「うこぎ、ひょう干し、丸ナス、ひっぱりうどん(サバ缶入り)」などを何の抵抗もなく、バクバク食べる僕のように進化するのです。

豊かな暮らしというのは衣食住を充実させることだと思います。だから、「郷に従え」的な精神で地元の文化を真似してみて、自分に合うものを取り入れたらいいんだと。雪降ったら、みんな何履くのかな？おー長靴か！おー長靴って雪道便利だなー。正月はみんな何食べてるのかなー？おー鯉の甘露煮かー！鯉って売ってるんだー。鯉料理専門店で刺身とか美味しいなー。冬は暖房どうしてるのかなー？ファンヒーター使うんだー。なんだあの管は？あっ、コタツに入れるのか、あーコタツ熱い。窓をふさぐと暖かいなー。と、地元の人を観察して、移住者の人のライフスタイルは作られるでしょう。

僕に関しては「豊かな生活」というレベルではなく「何か食べる」というレベルからはじまったので、何か手料理を作ってくれるありがたさハンパないです。地域より火をおこした人類バンザイ！食は重要です！もうバナナばかり食べたくない！

ということで、移住1%戦略は、特に大きな野望とか必要なく、その場所に行ったら、フツーに生活できる人がいいんじゃないでしょうか？時間がたてば、それなりに楽しい事もあるだろうし。

11~12月 思い出し日記（得意の気まぐれ）

11月22日（日）

選挙の開票速報のため、スタジオで生中継していた。ラジオのスタジオで一人でもっていたので、家にいる時と同じくらいリラックスしてしまう。「誰が市長になっても、米沢のために頑張ってもらいたい」という有権者の街頭インタビューを聞いて、その通りだと思った。票を数えるのが大変そうだから、ジャンケンで決めてもいいんじゃないか？と一瞬思った。

11月28日（土）

会社の先輩の結婚式の二次会に行く。いとこの結婚式にすら呼ばれないので、何着ていくとか、何するのかなにもわからなかった。ネットで調べたらカジュアルでも大丈夫と書いてあったので、その通りにしたら、僕以外はフォーマルな服装だった。ネットの嘘情報にだまされた！ホステスさんがいる店で、僕は端の席にしか座らないので、自動的にホステスさんの隣になり、食べ物を取って食べてもらった。基本的に知らない人としやべらないので、ホステスさんも仕事柄、困惑したと思う。でも、安心してください、もう行くことはないです。出し物でギター要望があったので、弾いてみたけど、誰も聴いてないので途中でやめた。大人としてうまく対応すればいいのだろうけど、そういうことが出来たら、こういう日記も書かないので、安心してください。会社の先輩のハレの舞台なので、申し訳ない気もしたけど、二次会だからセーフかもしれない。

11月29日（日）

川西フレンドリープラザのシニア演劇を観に行く。何回も観ているけど、毎回、アグレッシブな気迫に感心する。

昔の事。25歳くらいまで同年代の人は味方で、働き盛りの30代以上の人々がまわしてる会社とか世の中とか敵視していて興味がなかった。そのくせ、日本社会のヒエラルヒーにおいては、訳のわからん単純労働者として最下層にいた。でも、こんな戯言を言われるのは、20代の一時だと知っていた。40過ぎの人が自分と同じ感覚で近寄って来た時に、ものすごく嫌な感覚だった。あーはなりたくないと思いながらも、夢とか目標とか何もないから、働けとか何かしろと言われるたびに、社会からドロップアウトしたくなるものです。

色々言われるのは、まだその人に希望があるからで、何の見込みもない見限られた人には何も言わないと思う。「今時の若者は・・・」というセリフも30代になった僕に言う人もいなくなった。だから気楽に過ごしている日もある。

シニア演劇で、自分よりはるかに人生の先輩が一生懸命頑張っているのを観て、昔の無気力で勘違いな自分を思い出して、あれは良くないと軌道修正する。もう誰かに諭してもらおう立場じゃないので、演劇でも観て、自分でマネジメントするべきですな。だから、演劇の頑張りを観に行っているの、内容はあまり覚えてないのです。後藤さんスイマセン。

12月10日（木）

とんかつを食べた。少し前に両親が米沢に来た時にも行った店。親は顔だけ見るといい、ほんとに顔だけ見て帰った。この店に来た時に店のおばちゃんとやたら話す親がおもしろかった。なんでこんなにフレンドリーなんだか???まあ、このおばちゃんは気さくな人で、いつもご飯おかわりどうぞとか言ってくれる。だから2杯食べて、動けなくなつて、やっと運転して帰るのが定番パターン。さらに言えば、味が実家の食べ物に近い。だから家のご飯みたいだ。懐かしいというわけでもなく、ただそう思っただけです。一人で切り盛りしていて、働き者で偉いなと思う。遠く離れた米沢に、両親が来た店があるというのが、なかなかおもしろい。

12月12日（土）

ほんきこ。の忘年会に参加した。ビンゴで「ケロリン」の桶をゲットして、気に入ったので、その日から風呂でやたらお湯をかぶった。ギター要望が毎年あって、みんな聴いてくれるのでいい。実はあんまり上手く弾けなかった。練習不足。ギターインストは気持ちいいがギターモードでないと、たいてい上手く弾けない。言い訳がましいが、ほんとにそうです。作家の人のお話があり、努力の賜物だと思い、自分も人前で弾くなら、もっと練習したほうが良いと思った。でも、それは自分がやりたいことなら出来るけど、やらされている事なら頑張れないかな。

くじで席順を決めたら、両隣が川西時代ゆかりの人だった。一人は協力隊の担当者。ずっとくしゃみをしていて、なぜか自分もくしゃみが止まらず仲良しです。もう一人は川西に来た頃から、イベントなどで見かけてはいたけど、ほとんど話した事がなかったお姉さんです。イベントの時はスタッフとして台所仕事や準備などをされていたというのもあり、物静かな人だなと思っていたら、めっちゃ話す明るい方でした。ほんきこ。の新しいブックガイドにも、僕は暗い記事を書いたので、変なやつだと思われたかもしれないけど、フツーに話してくれるのは川西生活3年の賜物ですな。んーセーフ！